

教育目標	取組み	評価の観点	(参考数値)	前期の取組み	後期への課題
生徒の学力向上 (重点目標)	生徒の家庭学習時間の増加 教員の指導力向上と授業改善 教科における課題の明確化と解決に向けた計画的な取組み 新SSH、生徒による授業評価、自反会(土曜講座)授業シラバスの活用	生徒の学力が向上したか 生徒の満足する授業、知的探 究心を喚起する授業ができたか 家庭学習時間の増加が図られたか 生徒による授業評価に基づく授業改善がなされたか 各教科の課題が解決されたか 自反会の目的が達成されたか シラバスの整備と活用が図れたか	生徒学習状況調査 試験成績(模試、センター試験) 生徒による授業評価 生徒自反会満足度調査	【観点】小テスト確認テスト・ドリルの実施。補習授業の実施。 【観点】できるだけ実験や観察ができるような工夫。新聞社説の教材化。生徒の現在や今後の生活に係る内容を授業に取り入れる工夫。調べたり手を動かしたりする作業を授業に取り入れる工夫。 【観点】問題集・ノート等により毎日の課題や週末課題を与えて、家庭学習を促す試み。生活実態調査の継続的な取組みとそれに基づくきめ細かい面談の実施。夏休みの計画実施表作成の取組み。 【観点】授業評価の分析と積極的な活用。授業評価の質問項目の工夫。 【観点】学習の到達度に応じた指導。 【観点】土曜講座の各学年の年間実施計画の立案と実施。 【観点】シラバスに基づく、年度当初の生徒への学習内容の説明。	【観点】3年生は実践力の増進を、1、2年生は基礎学力の定着をはかる。金曜テストの実施方法の工夫。学習の到達度に応じた指導。 【観点】調べ学習の充実。 【観点】部活と家庭学習のバランスの確保。家庭学習量の増加となるような喚起の方法の模索。 【観点】提出物の期限までの提出の徹底。学年との連携。
新SSHに向けた学校全体の取組み	理数を中心に、高度な科学的思考力を育み学力を高めるための指導方法等の開発 理数に重点を置いた教育課程の導入(2,3年) 大学、企業との連携 清陵サイエンスフォーラム21の開催 科学系クラブ活動の振興 英語力を高め国際性を育む	理数を中心に各教科で指導内容・方法の研究開発に取組み、校内で組織的に研究が推進されたか 生徒の自然科学に対する興味・関心を高め、学習意欲が向上する取組みであったか 生徒の満足度を高める取組みであったか 連携を効果的に行えたか	SSH意識調査 各事業終了後の生徒充実度調査	【観点】課題探求発表会およびポスターセッションにおいてSSH課程生徒が研究成果を発表。「海外科学セミナー報告会」を2,3年合同で開催。科学英語入門「外国人科学者による講義」の実施(科目「スーパーサイエンス」)。信州大学自然科学博物館において科学系クラブが研究成果を発表。 【観点】「遺伝子操作体験学習」「自然災害実験教室」など大学・企業等と連携して10講座を実施。	【観点】2年S講座の学力向上。 【取組み】課題探求学習を進めるにあたっての、理科・数学科・英語科の連携。 【取組み】学習指導要領、生徒の自主的に充実した高校生活実現の支援、SSHの取組み、生徒の進路実現の支援、生徒の学力向上等、さまざまな観点をふまえての、教育課程の見直し。
主体的な進路選択と進路実現の支援	合同HR、講演会、自反会交流会(先輩外部講師)等による進路意識の向上と進路研究への支援 実力テストや校外模試の分析と事後指導 生徒・保護者、職員への進路情報の還元 指導の継続及び改善のための進路係と各学年間の連携	生徒の進路意識を向上させ主体的な進路選択ができるような取組みができたか 生徒の自己目標実現のための指導に十分取組めたか 実力テストや校外模試が有効に活用されたか 進路情報が生徒、職員に適切に伝えられたか 進路係、各学年間の連携が十分に図られたか	大学合格状況 実力テスト及び模試の検討回数 生徒満足度調査	【取組み】進路に関する合同HRの実施。進路講演会の実施。 【観点】大学見学会の実施。2学年夏休みの課題として、キャリアレポート・学部学科レポートを作成させる取組み。 【取組み】クラス担任による、模試の分析会の実施と生徒への指導。 【観点】個人面談の実施。 【観点】模試について、目標設定、学習指導法の事前事後指導。 【観点】進路室に届く情報の、サイボウズ、掲示等による周知。 【観点】2年、3年の進路係の進路室常駐。	【観点】新3年生の科目選択を通して、進路意識の向上を図る。 【取組み】分野別分科会形式による進路講演会の実施(2学年)。
学友会の自主的活動支援とクラブ活動の活性化	顧問の適切な指導 活動の保障	学友会活動を自主的に推進するための指導ができたか クラブ活動の時間、場所を保障し適切な指導ができたか	クラブ加入者数 生徒満足度調査	【観点】行事を主に、生徒を中心とした学友会活動が企画運営されるような指導。上下履きの区別、ゴミの分別については、ほぼ対応できた。 【観点】例年並みのクラブ加入者であり例年通りの指導ができています。クラブ活動の時間場所はおおむね保証されている。	【観点】係、学年、学友会の連絡の緊密化。より自主的な活動への指針の提示。 【観点】来期につながる練習方法の実施。
自主・自立性に基づく「清陵生としての自覚」を高める指導	学友会の諸機関と協議して、生徒に自ら考えさせる指導 学校生活におけるモラルの向上	学校生活の様々な場面において適切な指導ができたか 学友会へ効果的な指導助言ができたか 生徒の自主・自立性を尊重した指導ができたか		【取組み】指定上履きを導入し、上下履きの区別がしっかりしてきた。 【観点】HRや学友会を通じた、自覚を促す指導。地区PTAにおける、保護者への協力依頼。 【観点】学友会の諸行事に対する、役員の意見を尊重しながらの、適切なアドバイス。 【観点】端艇大会の、生徒を中心とした自主的でスムーズな実施。	【観点】生徒の生活全般の気のゆるみに対する指導。遅刻者に対する指導。携帯電話の適切な扱いへの指導。 【観点】クラスマッチ、湖周マラソンなどの行事を適切な助言のもと、生徒が自主的に運営できるような協力。 【観点】校内での健全で安全な生活の為の、教職員と生徒の協力。 【取組み】交通法規を守ることへの指導。研修旅行を通じたモラルの向上と自主性を向上させる取組み。
前期選抜の改善と広報活動の充実	前年度の反省をふまえた前期選抜の改善 HPの充実と校内運営体制の整備、広報誌「清水ヶ丘便り」の充実、学校案内ビデオ・パンフレット作成、中学校訪問 授業公開日の適切な設定	わかりやすい選抜基準であったか 本校、受検生双方に有益な選抜となったか HP「清水ヶ丘便り」等は充実していたか 本校の教育活動を保護者、中学校、地域住民等に十分に伝えられたか	HP更新回数 広報誌発行回数 授業公開来校者数	【取組み】観点 前期選抜募集要項改善に向けての検討。本校を取り巻くさまざまな状況の検討。 【観点】HPのほぼ毎週の更新。「清水ヶ丘便り」の発行の継続と、レイアウトまで含めた完全なファイルの校内での作成。 【観点】中学校訪問を、担任経験者、教務係、進路係、学検関係者を中心に、時期を早めて実施。 【取組み】授業公開日の予定どおりの実施。	【取組み】観点 前期選抜の改善に向けた取組みの継続。 【観点】HPの充実。「清水ヶ丘便り」の適切な時期の発行。今年度はあと2回の発行予定。内容の充実をはかる。 【観点】高校側と中学校・保護者側との相互理解を深めるための、中学校訪問のありかたの模索。